

Taka Gikai

多可町議会だより

2021年(令和3年)11月1日 第64号



見て見て

元気なボクたちわたしたち

9月定例会

- ・2年度決算をチェック 2
- ・届け!! 想い 高校生議会 8
- ・ここが聞きたい 13人が一般質問 12

アフターコロナ

お金の使い道をチェック

評価



◇財政健全化に向けて

実質公債費比率 R1 15.5%→R2 12.9%
(単年度R2 11.5%)
一般財源総額に占める公債費の比率

年度	財政力指数	経常収支比率	実質公債費比率
H28	0.33	94.1	16.5
H29	0.33	95.7	16.8
H30	0.33	91.3	17.2
R1	0.33	91.4	15.5
R2	0.33	91.4	12.9

◇ふるさと納税

R1 8,140万円→R2 1億678万円 (2,537万円増)

◇小中学校施設整備事業

加美中学校・八千代中学校・松井小学校の
屋内運動場等非構造部材の耐震化

◇ファミリーサポートセンター

子育ての手助けをして欲しい人と、
お手伝いができる人をつなぐセンターを開設
子育て家庭の負担の軽減

◇在宅育児手当

満1、2歳の幼児を在宅で育児している
保護者への支援
子育てするなら多可町

◇通学定期補助

町外から多可高校に通学する高校生に
通学定期券の補助をして、多可高校と地域を活性化

◇着実に増える移住者(移住定住促進事業)

定住コンシェルジュや町が関わった移住者
R1 20世帯40人→R2 36世帯72人



いつでも気軽に使ってね



いつも元気な多可高生

豊かな社会のために

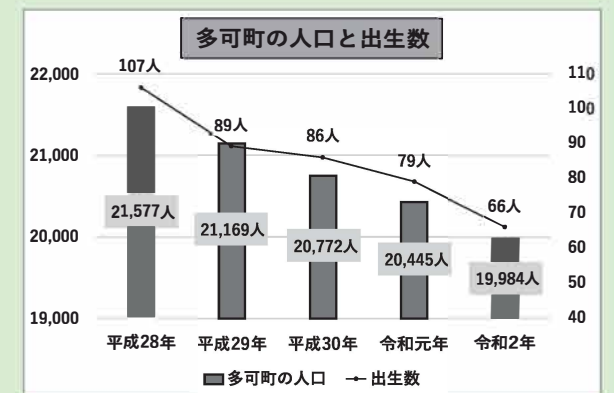
令和3年9月3日から9月28日までの26日間の日程で第107回多可町議会定例会を開催しました。
定例会では2年度決算認定や3年度各会計補正予算のほか、特別措置法に基づく過疎地域持続的発展計画の策定や町有財産の無償貸付などの議案が提出されました。

また、議員発議による議会委員会条例の一部改正や手数料条例の改正など17案件が提案され、慎重審査の上、すべての議案を可決しました。

課題

◆人口減少

R2.4.1 20,445人→R3.4.1 19,984人 (461人減)
◆出生数
H28 107人 H29 89人 H30 86人
R1 79人 R2 66人



◆地域医療対策

多可赤十字病院 医師確保目標 10人 (現在 7人)
松井庄診療所 延べ患者数R1 5,448人→R2 4,984人
杉原谷診療所 延べ患者数R1 7,041人→R2 5,392人

◆地域介護拠点整備事業

地域の介護サービスを充実させるため定期巡回
随時対応型訪問介護看護施設を開設するものですが、
3年連続で応募法人なし。



コロナ禍で患者が減っています

◆多可町図書館

貸出人数 H29 18,737人→R2 15,280人
貸出冊数 H29 92,522冊→R2 91,948冊

◆通園バス事業

利用者 142人 全体の40%の利用率
運行経費4,000万円 利用料220万円



おはようございます

◆春蘭荘

維持管理経費 506万円 使用料 6,440円
貸館利用人数 334人

議員が質した決算質疑

コロナ対策で歳入 歳出とも大幅増

一般会計の決算額は、歳入が140億6370万円、歳出が136億4462万円と、前年度に比べて、歳入で25億3889万円の22・0%増、歳出は23億272万円の20・3%と大幅増になっています。

これはコロナ対策として定額給付金と地方創生臨時交付金が増えたためです。

年度	種別	歳入	歳出
R1	一般会計	115億2481万円	113億4190万円
	特別会計	83億4935万円	87億1082万円
合計		198億7415万円	200億5272万円
R2	一般会計	140億6370万円	136億4462万円
	特別会計	83億8492万円	86億8225万円
合計		224億4862万円	223億2687万円

どこよりも早く 定額給付金

県内でもいち早く取り組み、支給も早かったです。何人の職員で取り組んだのですか。

A 正職員4人と臨時職員1人です。他に応援職員は申請書の発送や確認作業などで、延べ160人で取り組み、迅速な対応ができました。

新たな相談窓口で 困り事対応

総合相談窓口事業

Q 相談件数は何件あり、内容の詳細は。
A 件数は980件、201人です。内容は生活困窮、ひきこもり・不登校、障がい

に関してなどです。

Q どれくらい相談が解決したのですか。
A 解決が16%、関係課・機関へつないだのが26%、現在支援中が18%です。

貴重な財源確保に 向けて

ふるさと納税

Q 1億678万円と前年より大きく伸びています。要因は。
A 地域商社RAKUと連携し、特産品開発や情報発信につなげたのが大きいです。
Q 経費の総額や今後の目標は。
A 地域商社の運営経費も含め5500万円かかっています。目標額は2億円です。

経済効果は

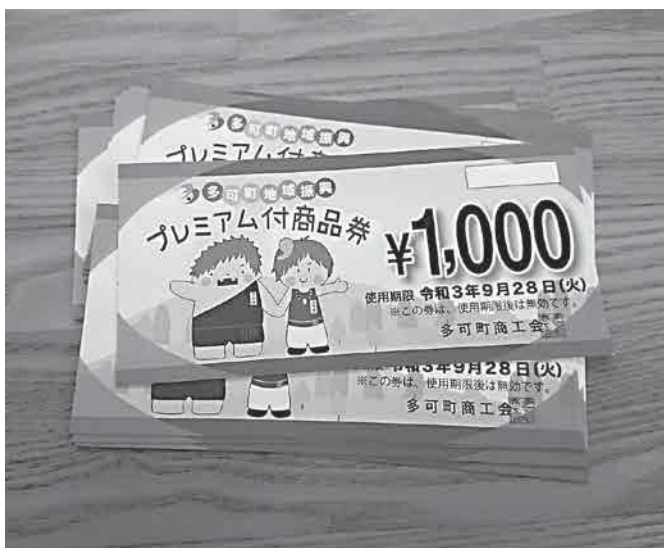
あったのか

Q 2回に渡って商品券が発売されています。経済効果はあったのですか。一部のスーパーなどでしか使われなかったのではないですか。
A 合計で2万6712セット、3億4725万円分売られています。

地域の足確保は 万全か

地域交通対策

Q 令和2年3月末でコミュニティバス4コースが廃止となり、中八千代線の新規路線が開設となりました。地域の足は確保できているのですか。
A 新規路線の開設や実証実験中の



何を買ったのかな？

地域交通対策

Q 令和2年3月末でコミュニティバス4コースが廃止となり、中八千代線の新規路線が開設となりました。地域の足は確保できているのですか。
A 新規路線の開設や実証実験中の

黒田線の開設、タクシー 利用助成券の配布などでカバーできていると 考えています。

Q 町外からの多可 高生への通学補助は。
A 町外から通学する20人の生徒に定期補助をして、多可高校の活性化にもつなげています。

地域医療は 守れるのか

多可赤十字

杉原谷・松井庄診療所

Q 多可赤十字病院は医師確保に苦労されています。運営に問題はないのですか。
A コロナ禍で患者数の激減や医師不足もあり厳しいです。
Q 杉原谷・松井庄の両診療所はコロナ禍で来院患者数も大きく落ち込み、基金を繰り入れての運営となっています。
この厳しい状況の中で、地域医療は守れるのですか。

不安対策として、 診療間隔が4週に1回から8週に1回に代わり患者数も大きく減っています。

地域医療を考える中で検討していきます。



頑張れ多可赤十字

教員の働き方改革は 進んだのか

校務支援システム

Q システムの導入・運用でどれくらい教員の業務負担の軽減、働き方改革につながったのですか。
A 勤務時間は2年前に比べて月平均で約12時間減っています。

また、データ化されたことで情報共有が改革につながっています。

業務負担の軽減 であつたのですか。

Q 子どものたちと向き合う時間が増えたことが一番です。

指定管理料は 本当に適切か

ラベンダーパーク

Q NPO北播磨ラベンダーは現金と預金で3000万円近くあります。法人税も45万円支払っています。立派な企業です。この施設に指定管理料は必要なのですか。
A 有償ボランティアで活動していただいているが、最低賃金以下で働いています。賃金の引き上げと事業の見直しをした後、指定管理料を検討していきます。

町民の健康増進に 向けて

アスナル トレーニングルーム

Q 10月からパークルやエアロバイクなどを整えトレーニングルームを開設しています。どれくらいの利用者があつたのですか。
A 346人で、延べ人数では3570人です。町外の方も多く、幅広い年代で利用されています。



あと1セット

本当に必要な 施設なのか

春蘭荘

Q 維持管理経費は500万円以上かかるのに利用人数は激減しています。他に利用できる施設があるので、譲渡や閉鎖も考える時ではないですか。
A 休館や用途廃止、譲渡も含めて、来年度予算までに考えます。

賛成討論

門脇保文 迅速なコロナ対応 コロナ禍で事業などが中止になる中、定額給付金はどこよりも早く支給され、支援金などコロナ対策も迅速な対応が見られ、大いに評価できます。評価表、貸借対照表を決算審査時に提出することを願います。

ウィズコロナの時代

今定例会決算認定はコロナ対策を、どう評価するのかということに尽きました。

素早い定額給付金支給や、地方創生臨時交付金を使ったコロナ対策など大いに評価できるものもあつた反面、今必要な予算なのかと思うものもありました。議会では検証を重ね、住民福祉の向上につながる政策提言をしていきます。

たかを前に進めよう

過疎地域を応援 固定資産税の課税免除

加美区が過疎地域に指定されました。持続的発展計画で振興すべき業種として定められた製造業、情報サービス業、農林水産物販売業などの設備を新設・増設すると、固定資産税を免除します。

Q これは従来からあるものも対象になるのですか。

A 新設・増設したものが対象です。

Q 対象業種を町独自で決めることはできないのですか。

A 法律で決められているので町独自では決められません。

施設を有効活用 するために

物産館条例一部改正

高齢者の活動拠点だった「かみの朝市南直売所」は令和元年10月に閉鎖しました。今後は、この施設を有効活用し、新たな事業の展開をします。

Q 閉鎖してから時間が経過していましたが、その理由は。

A この施設の利活用に関して、地元や特産品加工グループと協議を重ねたためです。

かみの朝市 南直売所の有効活用 町有財産を無償貸付

「多可町公共施設等再配置計画」に基づき、利活用事業者を公募しました。

地元の、株式会社加美鳥（かみちょう）が施設を活用することになりました。

期間は、令和3年10月1日から令和8年3月31日まで無償で貸付します。

Q 無償貸付をするとした判断理由は。

A 建物は老朽化しており、維持管理（修繕など）にコストがかかるため無償貸付にしました。

Q 借地料は誰が払うのですか。

A 町と所有者との契約になっています。貸付後は「加美鳥」が町に支払います。

賛成討論

賑わい創出に期待する

地元で信頼もある株式会社「加美鳥」が、施設を自費修繕しながら運営されることは大変有意義なことです。地域の人が親しまれ、都市と農村の交流の場として、賑わい創出にチャレンジしていただけることに期待します。

議会の考え

「公共施設等再配置計画」で町内の施設の統廃合を進めている多可町ですが、思うようにはなっていません。地元の特産品を使って、地域の発展につなげようとする取り組みは意義深いです。若い力で町内に人を呼び込む事業を展開しようとする加美鳥を応援します。

まちを元気にしたい

=ふるさと納税の拡大を目指す=

ふるさと納税応援基金

Q この基金はどのようなに運用するのですか。

A 寄せられた寄附金のメニューに基づいて活用します。

Q なぜ手数料が増えるのですか。

A ふるさと納税が大きく増えたためです。

安全で快適な環境づくり

Q 車庫移転補償額の全額を使って整備するのは可能ですか。

A 補償額の範囲内で必要最低限の整備を計画します。



私たちに任せて下さい!!

地域商社RAKUへ 運営委託料

Q 何に充てる費用ですか。

A ウェブ上の展示会やふるさと納税のポータルサイトを充実するための費用です。

Q 寄附額の目標を定めていますか。

A まずは、多くの返礼品の商品化に取り組み、2億円を目標にしています。

加美区が過疎地域に指定 多可町過疎地域持続的発展計画策定へ



これをチャンスに
前へ進もう

令和3年に加美区が過疎地域に指定されました。来年度には中区、八千代区も指定される予定です。今後は、公共施設総合管理計画や教育・医療・交通の体制・人材育成事業に対し、過疎対策事業債を有効活用します。十分な議論を深め、安心して暮らせる環境づくりをする計画です。

Q 例えば、医療関係ではどんなことに使えますか。

A 診療所の医師の確保や機器の更新などに使えます。



地域医療を支える 松井庄診療所

歳出		9月補正予算	
款	補正額	補正後の額	
総務費	2755万円	20億1208万円	
民生費	488万円	35億234万円	
衛生費	1137万円	9億7943万円	
農林水産業費	124万円	7億8926万円	
商工費	▲542万円	4億595万円	
教育費	▲116万円	9億5745万円	
諸支出金	5000万円	2億1108万円	
歳出合計	8846万円	123億2723万円	
特別会計	984万円	62億9997万円	

* 予算金額は補正のあった科目のみです。合計は現予算の総計です。

届け!!

未来の花

第6回多可町高校生議会開催

想い

君はその種

令和3年8月19日

議員の想い
 質問通告がそろってから、質問を振り分け、各議員はそれに答えるため調査研究をして、答弁書を準備します。
 高校生議会は模擬議会ではありますが、取り上げたことを、議会から町に提言して実現することを目指しています。
 だから、議員も真剣です。

第1回 7月19日
 生徒会が新しくなり、ほとんどの生徒が初めての高校生議会です。
 グループに分かれ「こうだったらいいのにな」を形にするため、担当議員がアドバイス。胸の内にある想いを文章という形にし、言葉で表現する一歩に。

リハーサル 8月16日
 議場の席につき、どのような手順で議事が進むのかを体験します。生徒たちの緊張が伝わって、こっちまでドキドキです。

第2回 7月29日
 それぞれ、質問の通告書の案ができ、もっとこうの方がいいとか、きっとこんな答弁が来るから、このように再質問をしてみよう、などをアドバイス。
 いよいよ仕上げる段階です。



三木議長



常見議長



ターザンロープでア〜ア〜!

巨大アスレチックで森林の活用を

林有以 議員

Q 今ある公園はあまり使われていません。それは、親と一緒に遊べないからです。
 80%以上もある森林を生かして、ターザンロープなどの巨大アスレチックを作れば、親子で楽しむことができるのではないのでしょうか。
A 経営ノウハウを持つ企業に、豊かな森林の魅力をアピールし誘致することが必要です。すでにある、余暇村公園のターザンロープやスカイローラーは大人気です。いつまでも愛される公園であるよう努めます。



ルンルン下校

自転車を基準にカーブミラーを

志水 峻雅 議員

Q 中町北小学校の横は、カーブの直前まで車が確認できず、衝突しかけたことがあります。カーブミラーを自転車に合わせて調整できませんか。
A 学校へ申し出てくだされば、通学路調整会を通じてミラーの角度を変えることは可能です。



安全な産坂にするために歩道が必要

福本 寧海 議員

Q 産坂は、交通量が多いです。自転車と車の距離が非常に近く危険です。特に下りではスピードが出てぶつかりそうになることもあります。産坂に歩道をつけて安全に通学できるようにするべきです。
A 自転車利用が安全な道路となるよう、県に強く要望しますが、しばらく時間がかかることから、速度を落とすための看板は路面標示の設置などを検討します。交通事故ゼロの多可町を目指します。



温水プールの利用者をふやすには

春藤 風花 議員

Q 加美区にある温水プールは利用者が少ないです。もっと若い人に利用してもらうための工夫が必要です。
 施設やプール、利用している人やインタビューなどSNSを利用して動画配信することや、さまざまなニーズに答えるためにレーンを設けることも必要ではないのでしょうか。
A 温水プール利用も健幸ポイント事業に追加しました。SNS発信はしていないので、今後研究します。



自転車通学の生徒にアシスト自転車補助を

常見 聡志 議員

Q 急な坂道や、遅くなると真っ暗になる中、自転車で通学している生徒は103人です。バス通学の定期補助のように、自転車通学にはアシスト自転車への補助が必要です。楽に登下校できると学習時間も増やせます。
A 検討すべきものと考えますので、町へ要望していきます。



自転車通学の安全確保を

横矢 和 議員

Q 自転車で登下校している中高校生の安全をもっと確保するために、カーブミラーの増設をしてほしいです。また、他にも危険な場所がないかを調査すべきです。
A 自転車利用者の目線から再度確認します。また生徒たちが危ないと思う箇所があれば、ご連絡いただければと思います。



快適なバス利用のために

岡本 たくま 議員

Q バス停の規模や構造が、道路交通法の条件に合いそうなところでも屋根がついていないバス停があります。快適にバスを利用するために、早急に屋根を設置するべきです。

A バス停の屋根は、最近の異常気象を見れば必要です。管理はバス停のある集落と町です。担当課に確認すると前向きに検討しているとのこと。

生徒に身近な介護施設を

三木 愛心 議員

Q 福祉を勉強する際、もっと多可町の介護施設と連携したいです。地域が参加できる行事を、施設と高校生合同で主催すれば、多可高校を通じて福祉への関心が高まります。もっと身近に感じる介護施設を作れないでしょうか。



A 介護施設の交流活動は、夏祭り盆踊りや敬老会などで、施設管理者や支援団体が主催しています。トライやるウィークのような訪問や慰問活動での踊り、合唱、演奏などに多可高校の生徒が参加することも、大変喜ばれる交流になります。



高校生と介護施設、そして地域も一緒に交流。これぞ地域共生社会ですね。福祉の心は着実に育まれているようです。



安全で快適なバス停を

足立 李桜 議員

Q 多可高口バス停を利用している66人の生徒は、屋根が小さいため雨の日は濡れ、ベンチが少ないので縁石に座り、熱い中1時間近く待つこともあり、のども乾きます。安全に快適に過ごせるよう整備していただけますか。

A 屋根やベンチの増設と、自動販売機の設置に向けて調査を町に要望していきます。

除草とガードレールで安全を確保して

赤松 祐佳 議員

Q 高東橋から高田橋付近を自転車で通行中に、雑草に気を取られます。また、杉原川側に何も無く危険です。除草とガードレールの設置で、安全を確保するべきです。

A ガードレールは通行量の関係で、設置は難しいです。除草は地元集落の協力を得て毎年2月と8月に実施しています。今後通行に支障がある場合は、役場建設課に連絡してください。

誰でも買い物ができるまちに

山口 陽大 議員

Q 2025年には65歳以上の人口が、15歳～39歳の倍近くになります。高齢者は体力の低下や公共交通機関の少なさから買い物に行くのがさらに困難になります。介護施設利用の人のためにも、多可町が、移動販売車を巡回させるといいのではないのでしょうか。



A 八千代区のAコープが閉鎖され、困っている人が増えています。町では路線バスを増便して対策しています。個人商店やコープこすべの移動販売車は大変喜ばれています。さらに手が届くサービスになるよう関係機関を通じて働きかけます。



自分で見て選ぶ買い物は、いくつになっても楽しいもの。どうしたら実現するか、本腰を入れる時期が来ているようです。



スポーツ施設の充実を

三吉 凜香 議員

Q 卓球、剣道、バレー、バスケ、バドミントン、テニス、水泳、そしてボウリングなど、さまざまな年齢の人が利用でき、健康増進ができる施設を充実すべきです。

A スポーツの力は無限大です。人口減少時代を迎えた今、スポーツが持つ力をまちづくりに生かす取り組みをさらに進めていきます。

牧野大池キャンプ場跡を活用せよ

内海 征剛 議員

Q 閉鎖された牧野大池キャンプ場は、広い土地ときれいな空気が気持ち良い場所です。ドッグランとゴルフショップで活用すべきではありませんか。

A 妙見山登山口、また健康ウォーキングのコースとしてさらに利用していただけるよう取り組みます。



若者がそそご当地グルメを

櫻本 陽菜 議員

Q 多可町の誇れるブランド「百日どり」で、それぞれのお店が競い合うコンテストをして、町外へ発信することが必要です。ロティサリーチキンのような「百日どりの丸焼き」を若い人たちで作るイベントを提案します。

A 大胆な発想で、インパクトのある企画になりそうです。今後も若い人がそそご当地グルメの実現に向けて努力します。



高校生議会では、毎回胸が熱くなる場面があります。今回は殿井校長先生のはじめのあいさつで、心をつかまれてしまいました。『多可高校は、福祉の心を育み、地域の未来をひらく学校です。北播磨の未来をひらくのは、将来を担う高校生に力が必要です。多可町を元気にするのは、私たち多可高生の力が必要との思いを胸に、本日の準備を進めてきました。高校生の視点から、まっすぐな意見、これがまちづくりに役立つことを心から願っています。』
貴重な時を、素晴らしい経験がありました。ありがとうございました。



大山由郎 議員

Q. 子どもたちの食の安全強化を

A. 安全な給食・食育を推進する



心を込めて - 学校給食センター -

Q 子どもの食を取り巻く状況や問題点、その対応は。

教育長 不規則な食生活、肥満や過度の痩せなど多くの問題があります。学校給食を「生きた教材」としてとらえ、創意工夫をしています。

Q 食生活に対する関心を高める取り組みは。

教育長 栄養教諭が給食の時間に食育指導をしてきました。今年度はコロナ禍のため、食育動画で対応しています。また、多可町産の

食材を活用して、生産者や食べ物などへの感謝の気持ちを育てています。

Q 全国各地で災害が発生し大きな被害が出ています。子どもたちへの安全・安心を標榜する給食施設でも「災害対策マニュアル」を策定し活用するべきです。

教育長 不測の事態に備えて、危機管理マニュアルを定め、緊急事態に努めています。

ここが聞きたい!!

議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。

熱気あふれる発言の散々は、たがTVやYouTubeでもご覧いただけます。

議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに町長と教育長に方針を問います。

全文は多可町議会ホームページを検索



Q. 八千代北小活用業者の契約解除は

A. 地元の意向を尊重する



藤本一昭 議員

Q 旧八千代北小の跡地活用事業者が、昨年夏より操業を始めました。工場からの臭いは、住民には耐え難いものでした。

当事者間で協議をもちましたが、合意できない状況となりましたので、今年8月には地元集落から不動産賃貸借契約の解除を求める要望書が多可町に提出されました。

町からは、契約解除について前向きに対処する旨の回答がなされました。今後どのような



どうなる旧八千代北小

に契約解除に向けて対応しますか。

町長 町は地元集落と、住環境に影響があった場合に改善がなければ事業者との賃貸借契約を解除する旨の協定を結んでいます。

地元から契約解除についての要望があり、これ以上の改善が見込めない判断したので、賃貸借契約解除に向けて対応いたします。

質問議員	質問趣旨	掲載ページ
大山由郎	子どもたちの食の安全強化を	13
藤本一昭	八千代北小活用業者の契約解除は 音声認識文字変換システムの導入を (未掲載) 新ごみ処理施設周辺関連設備の整備を (未掲載)	
橋尾哲夫	バス停に屋根の設置を 多可赤十字病院の位置付けは (未掲載)	14
門脇教蔵	子どもが読書に親しむ環境を ブックシャワーの設置を (未掲載)	15
廣畑幸子	通学路のさらなる安全確保を	
山口邦政	デマンド交通の導入を進めよ 高齢化社会における地域の環境保全是 (未掲載)	16
笹倉政芳	若者が定着できる環境づくりを	
市位裕文	移動販売車の運営を	17
門脇保文	「ゆりかご基金」の創設を 腎臓機能を守れる医療体制を求める (未掲載)	
加門寛治	スクールゾーンを設置せよ	18
清水俊博	総力をあげ少子化対策を 交通事故から「児童・生徒・住民」を守ろう (未掲載) カーシェアリング導入でコスト削減を (未掲載)	
酒井洋子	学校への愛着に配慮した計画を 移住定住策にまちの強みを生かせ (未掲載)	19
日原茂樹	生涯学習センターは木造で HSCに理解と配慮を (未掲載)	



廣畑幸子 議員

Q. 通学路のさらなる安全確保を

A. 今後も安全確保を進める



自転車も通れる歩道へ Go

Q 中町中学校前道路の青い矢羽根が途中で途切れています。矢羽根が書いてあっても自転車通行可であることの周知が必要では。また加美区熊野部から多田への通学路の照明が暗く不安を持つ生徒がいます。地元にかせるだけでなく、町が率先して改善するべきでは。

教育長 「矢羽根を延長した時、交差点内を斜めに移動することが考えられるため、途中で止めて安全に歩道へ導いている。」と県は説明しています。自転車通行可の周知はしていきます。ご指摘の箇所は、確かに暗いです。地元とも協議しながら検討していきます。

八千代区は令和元年から坂本地区の路肩拡幅事業を進めています。今後も子どもたちの安全確保を進めます。



橋尾哲夫 議員

Q. バス停に屋根の設置を

A. 過疎債で設置を検討する



これで安心

Q 最近は大雨の日が多く、高校生などの通学に際し、バス停に屋根がないため傘を差してもびしょ濡れになります。各区のバス停の状況を調べ、可能なかぎり順次バス停に屋根を設置し、利用者に寄り添うべきです。

過疎債を有効活用して、早急に行けるところから設置すべきです。**町長** バス停の屋根の設置は、8月19日の高校生議会での質問もありました。今年度、現地調査をした結果、15か所の内28か所は屋根が設置済みです。2年度には加美中線の月ヶ花バス停に屋根を設置しました。大和線にはバス停22か所ありますが、屋根付きは4か所です。今後、過疎債を活用し、来年度予算で、大和線の川上バス停、局前バス停の道路占用許可が取れば設置します。

Q. デマンド交通の導入を進めよ

A. 次期公共交通計画で検討する



山口邦政 議員

Q 免許返納者などの交通弱者は町内の75%以上で約70%です。交通弱者にとって買い物や通院などで利用が必要な交通手段の確保は大きな課題です。今後ますます高齢化が進む中、全国の約700の自治体が導入し、近隣市町でも導入している自宅近くまでの送迎が可能なデマンド交通の導入を進めるべきです。



活躍してます 乗合タクシー - 西脇市 -

町長 福祉タクシー助成券、路線バスの運賃助成をしています。また、バス停から半径500m以上離れた世帯に対してタクシー助成券を交付しています。路線バス・コミバスの沿線から300m以内はデマンド交通の運行ができません。これがデマンド交通導入の課題となっています。次期公共交通計画の策定時にデマンド交通の協議をしていきます。

Q. 子どもが読書に親しむ環境を

A. さらなる環境づくりに取り組む



門脇教蔵 議員

Q 読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができません。その一方で、子どもの読書離れを指摘する声があります。読書に親しむための環境づくりを、積極的に進めていくことが重要です。

教育長 昨今インターネットの普及など社会情勢の影響もあり、子どもの読書離れが大きくなっています。読書に親しむための環境づくりを、積極的に進めていくことが重要です。夏休みには、課題解決コーナーを開設し、多くの本に親しんでもらうため「ビブリオンピック」も開催しました。



たくさん本を読もうネ



門脇保文 議員

Q. ゆりかご基金の創設を

A. 検討課題とする



Q 全ての家庭で安心して子どもを産み育てるための環境づくりや、地域づくりが大変重要です。

町長 「子育てするなら多可町」安心して子どもを産み育てる環境づくりを進めてきました。今後、長期的な展望を持ち、総合的な少子化対策を大胆に進めているところですが、経済的支援だけでなく、若い世代の雇用、子育てできる労働環境や働き方改革も含めた総合的な政策が必要です。

ゆりかご基金の創設は、財政的な問題もあるので検討課題とします。



笹倉政芳 議員

Q. 若者が定着できる環境づくりを

A. 活力あるまちづくりを推進



地元には優れた企業がいっぱい
- 多可高校で企業説明会 -

Q 人口減少の流れは加速しています。まちの持続的発展につなげていくには、更に特化した政策を打ち出す必要があります。特に、若者が定着できる魅力ある環境づくりが必要不可欠です。各課が柔軟に横断的なチームを組み、スピード感をもって強力に押し進めるべきです。

町長 第2期「多可町総合戦略」を策定し、若者の起業支援や子育ての環境整備と支援、定住・移住促進に向けてた支援など、幅広く取り組んでいきます。更に、少子化対策推進本部で、各課の垣根を越えて「子育てするならダントツ多可町」を目指し、持続的で活力あるまちづくりを推進します。

企画秘書課長 未来を支える若者定着に思い切った奨学金返還支援制度を考えます。

Q 将来多可町に戻ってくる若者に、奨学金などインパクトのある発信をするべきでは。

Q. スクールゾーンを設置せよ

A. 関係機関とも調整し検討



加門寛治 議員

Q 学校周辺の通学路で、大半はその集落の人たちしか通らないと思われのですが、一部集落外の人たちが頻りに通る通学路があり危険です。集落内道路なので幅員はそれほど広くなく、ガードレールや歩道の設置ができません。スクールゾーンの設置をすべきです。



ここは通学路です

教育長 スクールゾーンは、地域の理解と協力のもと、警察や道路管理者との協議も必要となります。現在、町内でスクールゾーンを設置しているところはありませんが、子どもたちの安全を確保するためにスクールゾーンを設置する必要がある場合には、関係機関とも調整しながら検討していきます。

Q. 移動販売車の運営を

A. 公共交通の整備に努める



市位裕文 議員



便利でいいな 移動販売車

Q 本町の高齢化率は、37・9%と大変な数字です。今後も高齢化は進みます。買い物弱者は増える一方です。民間業者の移動販売車、宅配業者を利用、各種団体での買物支援、公共交通の拡充などでは明らかに限界があります。

町長 地域の高齢化、過疎化、身近な店舗の廃業などで買い物弱者は増えています。これは、多可町の重要な問題と認識しています。このことを補う対策として、タクシー補助の交付対象者拡充など公共交通の整備に努めています。今後も生活支援体制整備事業を進める中、社会福祉協議会や地域共生推進協議会と一緒に地域の支援につなげていきます。



日原茂樹 議員

Q. 生涯学習センターは木造で

A. 木材利用を検討



木の香り漂う図書館
- 埼玉県・杉戸町生涯学習センター(HPより)-

Q 面積の80%が森林に覆われている多可町で、町内産材を利用した生涯学習センター建設は林業、木材産業を活性化させるうえで大きな意味を持ちます。木造で建築すること

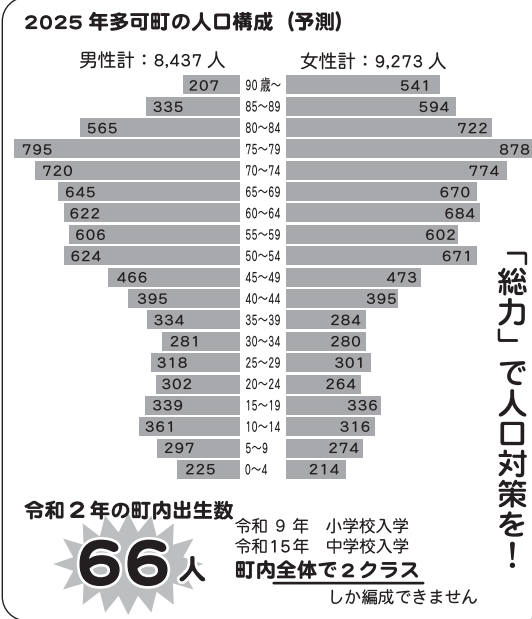
町長 検討すべきです。促進に関する方針では、低層の公共建築物を中心に木造化することや、森林・林業ビジョンの中でも町内産木材の利用促進のため、木造や木質化に取り組むことを明記しています。木造での建設は、生涯学習センターの性格上、非常に相性がいいと思います。建設検討委員会などの意見をきき、木材利用を検討していきます。

Q. 総力をあげ少子化対策を

A. 危機感を共有し全力で取り組む



清水俊博 議員



Q 今年4月から加美区が過疎地域に指定されました。人口減少への対策が最重要課題と認識し、速やかに計画を策定し実行する必要があります。現状をどのように分析され、対処を考えていますか。

町長 人口の維持、確保は最重要課題と認識しています。コロナ禍の今、地方への回帰基調、更にはテレワークなどの流れを活かし、過疎地域発展計画に基づき、過疎債など有効な財源を活用しながら全力で取り組みます。令和2年の総出生数「66人」と正に緊急事態です。「少子化対策室」「若者プロジェクトチーム」など全町あげて取り組む必要があります。

健康課長 少子化への対応は困難を伴いますが克服しなければなりません。「こども庁」の創設など国の動向も注視します。

Q. 学校への愛着に配慮した計画を

A. 地域が活性化するように努める



酒井洋子 議員



地域と共に

Q 学校の規模適正化を考える時、地元の学校への愛着や、心の拠り所としてシンボルの役割を果たしていることを考慮し、跡地活用を並行して検討する必要がありますか。

町長 跡地活用は、今後の学校の在り方がまとまった後に速やかに検討します。またその地域の、災害時の避難所としての役割も、前もって検討しておくべきではないでしょうか。

生活安全課長 その地域での必要性を考慮し、跡地を活用する事業者と、避難所としてのスペースの貸し出しなどを話し合いたいと思います。このようにして避難所の確保は今後も進めていきます。

照れるねひと褒め

なんとなく「あなたがそばにいるだけで」気持ち落ちついて幸せ感に満たされる。疲れた心が元気になる。勇気が湧いてくる。「あなたがそばにいてくれるだけで」なんとなく。

「いつもありがとう」から始まる一日がほんのりとした幸せ。はずかしがらずにドンドンほめよう!

(吉田政義)

あなたのひと褒めお聞かせください

ありがとう その言葉が まちを変える

多可町一日ひと褒め条例

一日一回誰かをほめよう
一日一回誰かに感謝しよう

お問い合わせ
議会事務局 ☎0795(32)4775

ほめられた

このコーナーでは、議員のひと褒めエピソードを掲載してきました。それぞれの議員の違った魅力がお伝えできたと思いますが、いかがだったでしょうか。

次号からは住民の皆さんのひと褒めエピソードをご紹介します。

100文字程度の本文にお名前とご連絡先、お名前掲載の可否をご記入の上、メールがファックスでご応募ください。

議会だよりにぜひご参加ください。

FAX 0795-32-4969

Email gikai@town.taka.lg.jp

育

G I G A スクール

総務文教常任委員会所管事務調査 令和3年7月27日

今年本格的に始まった
G I G A スクール。
子どもたちの様子、先生方の
活用法を聞きに行きました。



質 問

- 1 タブレット教育が教職員や児童生徒の負担増になっていませんか。
- 2 ICTに特化した教職員が必要と思いますが支援員の配置で十分ですか。
- 3 ネットワーク回線でのトラブルなどはないですか。
- 4 タブレットは家庭学習の充実に繋がっていますか。

松井小学校

① 不慣れた教職員には大きな負担と思えますが、徐々に慣れ負担は軽減すると思えます。児童は、覚えが早く対応力は高いです。あまり負担は感じません。

② 支援員の派遣は週1回です。タブレット活用などの指導を受けます。

ICTに特化した教員を「情報担当教員」として選んでいます。

③ オンライン中に特定の学年だけ、電波が数分間毎に切れました。

④ 6年生のみ月1回程度持ち帰り、作文や家庭科に活用中です。

八千代中学校

① 教職員はいかに効率よくするかが大事です。使うと便利ですが、授業や業務改善につながりません。生徒たちは楽しく使っています。

② 支援員の派遣は週1回です。困った時は常駐が理想です。教職員に専門人材がいればなお良いのですが。

③ 繋がりにくいことがあります。ICTに詳しい教職員は3人いますが、トラブル発生時は授業中で対応できませんでした。

④ まだ持ち帰らせていません。持って帰ることのメリット、デメリットをよく検討しなければいけないと思います。

家庭学習の充実

その後、9月に「タブレットの持ち帰り週間」として全ての児童生徒が家庭で接続して、家庭学習に活用しています。

また、教員が自宅からオンライン授業もしています。

タブレットは、思っていた以上にいろいろな活用の仕方があることに驚きました。大きなメリットは、授業準備の省力化で、生徒たちの話し合いや共同作業の時間が増えていることです。

各学校にICTの専門員がいれば活用の幅がもっと広がり、タブレットも安心なのではないかと思いました。

(廣畑)

危機意識を

楽

生活環境常任委員会所管事務調査 令和3年7月14日

多可町の活性化を目指し創設された、官民ハイブリッド型の地域商社 R A K U に期待が寄せられています。

896の自治体が消滅すると言われる2040年問題を知った時、強い危機意識が生まれ、それがきっかけで“人口を増やしたい！地域を活性化したい！”この思いが強くなりました。と語る地域プロジェクトマネージャーの寺川さん。地域商社 R A K U が、多可町創生にどのように切り込んでいくのか、現状と構想をお聞きしました。

特色1

売れる商品を作る

地域内に、より魅力的な店、商品があれば人口流出は抑えられるという発想がやがて地域内外で売れる商品になり、外からのお金の流れになります。

特色2

稼いだ分地域に投資

稼いだお金で、新商品の開発、ECサイト、SNS、口コミサイトなど販路拡大、特産品広告バナーなどを作成し、お金の流れを止めず、集中して投資する必要があります。

目標は

3年度は2億円突破、まずは倍増

分野

空き家は未来への資源

管理サービスで、空き家の資産価値を下げない取り組みをしたいです。

ロケーションも含めたPRと短期のお試し住宅を企画していて、婚活にもつなげたいです。



質問にも熱が入る視察

2040年問題への危機意識が、原動力になっている地域商社 R A K U の取り組み姿勢への感想は、楽しそう。今後の構想では、玉手箱のように次々とアイデアが飛び出してきました。

頼もしいに、委員全員が「多可町の将来はらっきや」と嬉しくなりました。

商工観光だけでなく、空き家や地域の魅力発信、シニア世代との協働などにも切り込む考えもあるとのこと。

問題解決を楽しむ姿勢も R A K U の名前の由来かと思うほどでした。

委員会は、多可町活性化のため、楽しんで夢を実現する後押しができるよう知恵を絞り、力を尽くします。

(酒井)



伝える

で議会を届ける

第41回広報紙コンクールで、多可町議会だより第56号が優秀賞に選ばれました。

令和3年7月28日に、兵庫県町議会議長会第72回定期総会で、表彰を受けました。

私たちの努力や工夫が、3年ぶりの優秀賞という形で評価され、とても思い出深い表彰となりました。

住民のみなさんに、分かりやすく読みたくなる、その前に手に取って開きたくなるような議会だよりを目指して、委員全員で編集に取り組んでいます。表彰されることが目的ではありませんが、私たちの伝える心が、住民に議会を届けるこ

とになるとそれぞれが自覚し、今後も、日本一読みやすい議会だよりを目指します。



全議員研修

明るい未来を拓くため

令和3年10月8日、兵庫県町議会議長会主催で、議員研究会が開催されました。会場の福崎町文化センターには、県内各町から集まった約200人が参加しました。

経済評論家辛坊正記氏の講演「日本経済の現状と課題」では、今は先進国の手本を追うキャッチアップ型成長ではなく、破壊型イノベーションが競争力の源泉という言葉が印象的でした。

企業が活動しやすいビジネス環境や、規制緩和、インフラの充実など、取り組みのヒントにもなるお話でした。新潟県立大学准教授の田口一博氏の「議員活動に『研究倫理』をインターネット広報はどう使うか」では、SNSなどを使うときに、



政治が「対話」であることを念頭に、事実と意見を分けて表現することが大事であることを学びました。住民への理解を深めるために、議会の活性化と効率的な議会運営に努めます。

常任委員会の再編成

常任委員会検討部会を立ち上げて、委員会の活動に関する検証をして、十分な審議をしているか、政策形成を担う機関としての役割を果たしているかなどの議論を進めてきました。

課題

- 2年毎の委員会の改選時、希望者が生活環境常任委員会に集中。
 - 組合議会選出議員が生活環境常任委員会にしかないこと。
- 検討部会ではこの課題から2つの常任委員会を編成し直すことが必要と判断し、教育委員会、福祉系、事業関係、町長部局などに分けて編成することになりました。

所管と委員会名

①教育委員会と福祉系

文教ふくし常任委員会		
教育総務課	学校教育課	こども未来課
生涯学習課	定住推進課	健康課
福祉課	ふくし相談支援課	住民課

②町長部局と事業系

西脇多可行政事務組合	議長、各常任委員会から1名
北はりま消防組合	各常任委員会から1名
播磨内陸医務事業組合	各常任委員会から1名
氷上多可衛生事務組合	副議長、各常任委員会から1名

総務まちづくり常任委員会		
総務課	企画秘書課	財政課
税務課	会計課	産業振興課
建設課	上下水道課	商工観光課
生活安全課		

組合議会

組合議会は文教ふくし、総務まちづくりの両委員会から1名ずつ選出します。

- 組合議会議員は議長が指名する。
 - 組合議会議員は常任委員会で、組合議会の議題、内容を報告する。
 - 本会議における諸報告は、議長、副議長が、また議長副議長が選出されない組合（播磨内陸医務事業組合、北はりま消防組合）は、2名の議員で順番に報告する。
- 来期より委員会を再編し委員会活動の活性化とさらなる充実で、多可町発展に取り組みます。

議会を見よう

この機会に、ぜひ多可町議会公式ホームページをお訪ねください。過去の会議録やお知らせをご覧ください。

https://www.town.taka.lg.jp/takacho_gikai/



Facebookでは、委員会などでの議員たちの様子をご覧ください。



YouTubeでは、本会議での質問や発言をノーカットで公開しています。



- 次回定例会の予定 -

12月定例会〈本会議の日程〉

初日	12月7日(火)
一般質問	12月20日(月)
//	12月21日(火)
最終日	12月27日(月)

●質問内容などは12月10日に議会ホームページに掲載します。

●傍聴は役場4階へお越しください。

●請願・陳情の提出は11月22日17時までに提出ください。

*ご不明な点は議会事務局にお問合わせください。

敬う心 を 育む

敬老の日発祥のまち多可町

全国おじいちゃん
おばあちゃん子ども絵画展



小林真也審査委員長講評

審査は、年齢や学年に合った表現ができているかどうかということと、この絵画展の個性でもある、おじいちゃんおばあちゃんとの心のふれあいが実感できる作品かどうかを基準に見せてもらいました。

全ての作品に、おじいちゃんおばあちゃんを描くにあたって、見たこと、感じたこと、それを伝えようとする気持ちが込められていました。

やさしさや温かさ、人とのふれあい、かけがえない生活、自然そのものを感じ取ることができました。

文部科学大臣賞を受賞した遠藤さんの作品は、おじいさんのお人柄、生きざまや生き抜く力が、作品を見る者の心に強く響きました。

絵を描く時、人やもの、景色や自分と対話して、深く考えながら描いてください。そして描くことで、どんな成長ができたかを振り返って、成長する自分をどんどん好きになって欲しいです。

人や生き物、ものやまち、自然とたくさん対話をして、自分自身や人の心を幸せにする絵を描き続けて欲しいと願います。

9月20日敬老の日に、第32回全国おじいちゃんおばあちゃん子ども絵画展の表彰式が開催されました。

入賞の常連さんもチラホラ見受けられ、繰り返し参加している様子もうかがえます。

応募作品すべてを公開することは、この絵画展の大きな特徴のひとつです。10月からホームページでご鑑賞いただけます。応募された人も、作品をもう一度鑑賞すれば、おじいちゃんおばあちゃんとのふれあいを、さらに深める機会になるかもしれません。

全国の子どもたちが、この絵画展を目指して、絵のモデルになるおじいちゃんおばあちゃんに、思い切り関心を寄せるようになると素敵だと思いませんか。

日本中で「敬う心」がグングン育ちますように。



編集後記

議員の手でほとんどすべてを作る議会だより「輝」おかげさまで、今期最後の編集を終えました。

毎回定例会が終わると編集がはじまり、実はとても骨の折れる仕事です。

助け合う気持ちと、ひと褒めの精神で「分かりやすい、優しい広報」を合言葉に、モチベーションを上げて乗り越えてきた委員全員が、かけがえない存在です。

温かい目でお読みくださり感謝いたします。4年間心からありがとうございました。

(酒井)

